

③公開特許公報(A)

昭54-65528

④Int. Cl.²
G 03 B 27/32
G 03 B 21/11
G 03 G 15/00

識別記号 ⑤日本分類
103 C 21
103 D 1
103 K 12

厅内整理番号 ⑥公開 昭和54年(1979)5月26日
6239-2H
6401-2H
6805-2H
発明の数 1
審査請求 未請求

(全 11 頁)

⑦可変倍率リーダー・プリンター装置

⑧発明者 高麗英一

横浜市練区たちばな台2の9の

1

⑨特 願 昭52-132251

⑩出願人 富士ゼロツクス株式会社

昭52(1977)11月4日

東京都港区赤坂3丁目3番5号

⑪発明者 山崎貞一

⑫代理 人 弁理士 米原正章 外1名

東京都世田谷区羽根木町一丁目
12-5

明 講 番

⑬発明の名称

可変倍率リーダー・プリンター装置

⑭特許請求の範囲

フィルム1の映像をスクリーン2、感光体3とどちらか一方に投影できるようにしたりーダー・プリンター装置において、フィルム1が形成されるフィルム取せ台5を複数部取合6-7を実現機構を介して動力源に伝達し、投影鏡の倍率を変更する第1、第2最大レンズ20₁、20₂のどちらか一方を所定位置に移動可能に構成すると共に、映像1、感光体3と大レンズ20₁、20₂の切替手段と前記実現機構とを相互に連絡して切替作動する如く機械的に連係したこと特徴とする可変倍率リーダー・プリンター装置。

⑮発明の詳細な説明

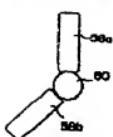
本発明はスクリーン上にマイクロフィルムの像を投影して、観察し、また投影を消去してマイクロフィルムと感光体を移動しながらマイク

ロフィルムの像を感光体に投影して複写する可変倍率リーダー・プリンター装置に関するものである。

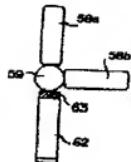
一般に、マイクロフィルム(以下「マイクロ」とする)の映像に適する規格は極多の種類がある。またフィルムは被写体の細部、大きさにより複数の縮少率があり、どのためフィルムに記載された縮少のサイズが一定していない。また複写用紙として異なる大きさを並ぶことができる場合、必要とする投影鏡大倍率が異なり一定しない。

1例として、マイクロフィルムの規格として広く利用されているNMA(National Microfilm Association)またはASA(American National Standard Inc.)のA1規格の1脚の大倍率は10mm×16.5mmであり、また同A3規格では11.75mm×16.5mmである。既知に310mm×217mmの大さきをもつてASA4規格の大倍率を被写体としてNMA-A1規格に複写する場合の縮少率を25分の1とすれば1脚の

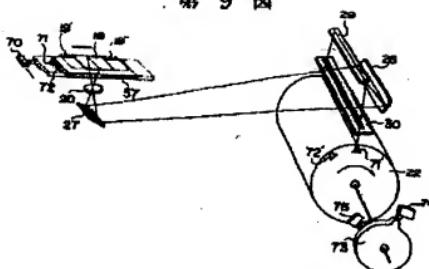
第 8 四



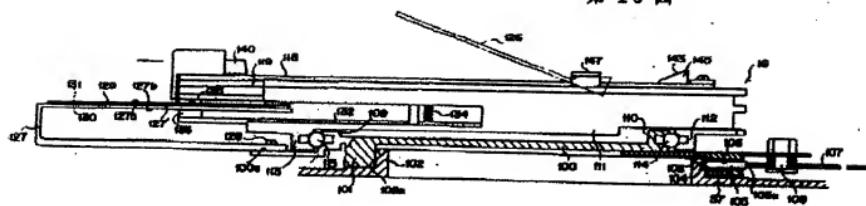
第 7 図



第 9 図



第10圖



第12回

